

生物多様性の評価、 種分化プロセスの解明、生態系の保全



大学院理工学研究部(理学)
准教授 山崎 裕治

研究のキーワード

生物多様性、進化、保全、希少種、ヤツメウナギ

研究の内容

多彩な自然環境と生物多様性を有する富山県を主なフィールドとして、生態学および遺伝学的な手法を用いた調査を通して、生物多様性の評価、変動機構(進化・種分化・絶滅)の解明、そして保全を目指した研究を行っています。フィールドにおける生物相調査やモニタリング調査に加えて、集団遺伝学的な分析手法を用いて、希少種の健全性評価を行っています。また、環境DNA技術を用いた生物相調査にも取り組んでいます。

産学連携・特許

富山県氷見市との連携事業「廃校となった小学校校舎を活用した希少種の保護に関する教育・研究・普及啓発活動」

科研費等外部資金

- 平成28年度 エスベック地球環境研究・技術基金「環境DNA技術を用いた希少種保護のための生物相評価手法の開発」(代表)
- 平成23-25年度 基盤研究C「水産重要種カワヤツメの性成熟制御機構解明のための分子生態学的アプローチ」(代表)
- 平成13-17年度 科学技術振興調整費「隠蔽種群における生物多様性の変動機構」(代表)

その他、社会貢献・受賞など

- 2007年 日本魚類学会奨励賞 2016年 エスベック環境研究奨励賞

研究の概要図

